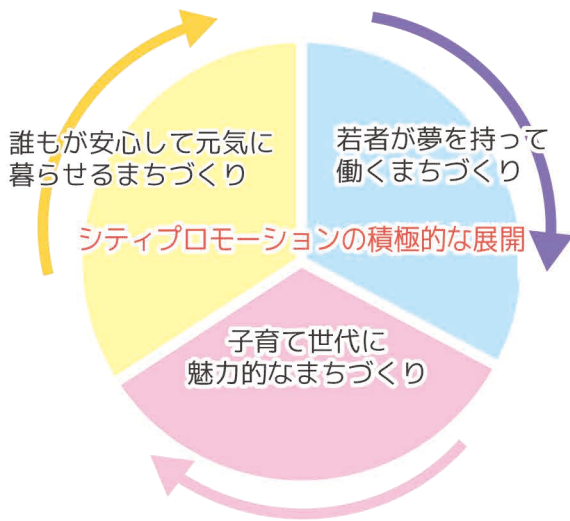


未来を拓くまちづくり

「若者が夢を持って働くまちづくり」、「子育て世代に魅力的なまちづくり」および「誰もが安心して元気に暮らせるまちづくり」の3つのまちづくりを進めるとともに、「まちなか再生による活性化」や「災害につよいまちづくり」に取り組みます。

3つのまちづくりで生み出す好循環



3つのまちづくりによる好循環を生み出すことで、将来を担う子どもたちが、この豊かな大牟田で安心して仕事をしながら生活できるようなまちを目指します。

令和6年度予算額

一般会計	606億	円
特別会計	432億4,066万円	
国民健康保険	146億7,047万円	
介護保険	131億5,587万円	
後期高齢者医療	24億 308万円	
病院事業債管理	5億9,655万円	
水道事業	37億8,424万円	
公共下水道事業	86億3,045万円	
合 計	1,038億4,066万円	



6年度一般会計予算について

歳入予算の特徴

歳入予算の特徴としては、依存財源の割合が約66%となっており、国などに依存した財政運営となっています。

歳出予算（目的別）の特徴

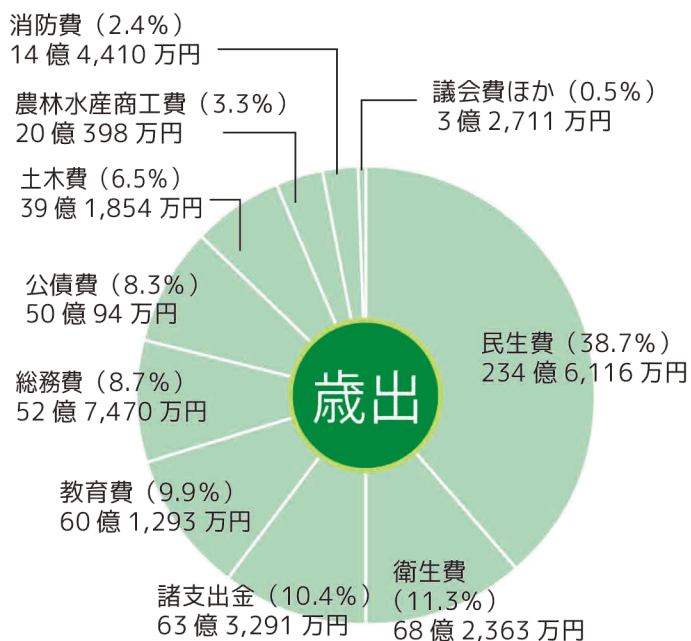
民生費が約39%を占め、生活保護費や障害者福祉費に加え、保育所や認定こども園への委託料等の割合が大きくなっています。2番目に大きいのが衛生費で、約11%を占め、ごみ、し尿処理費などの予算が含まれています。また、土木費は排水対策基本計画に基づく整備費が増加したことにより、前年度と比較し増加しています。

歳出予算（性質別）の特徴

扶助費・人件費・公債費は義務的経費と呼ばれ、その中でも扶助費が約31%と一番大きな割合を占めています。この義務的経費は、簡単に削減できない性質があるため、歳出全体に占める割合が大きいほど市が自由に使える資金が減り、硬直した財政運営を強いられることになります。本市の義務的経費の割合は約55%となっており、類似団体より大きい状況となっています。

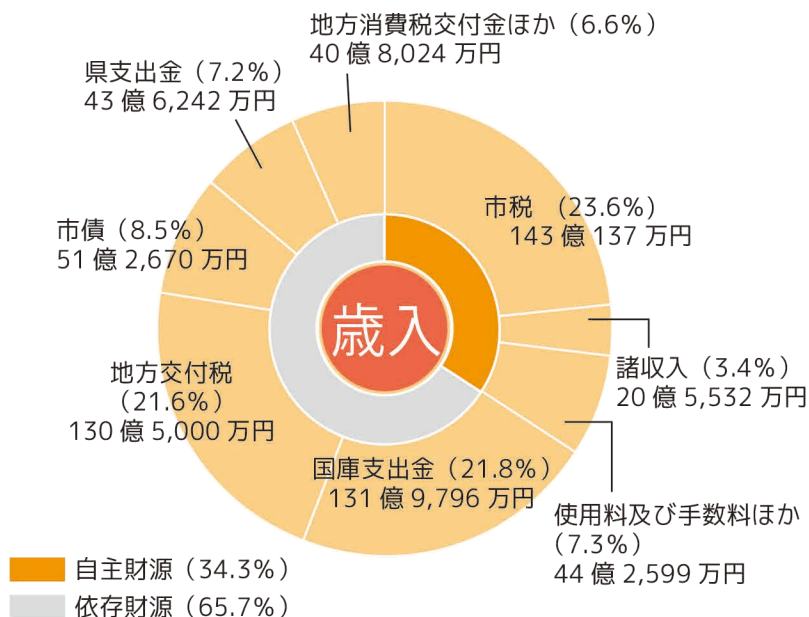
一般会計歳出【目的別】

606 億円



一般会計歳入

606 億円



一般会計歳出【性質別】

義務的経費 54.6%	扶助費	188 億 6,529 万円 (31.1%)
	人件費	92 億 2,474 万円 (15.2%)
	公債費	50 億 93 万円 (8.3%)
投資的経費 (普通建設事業費ほか) 66 億 4,848 万円 (11.0%)		
その他 34.4%	物件費	76 億 3,040 万円 (12.6%)
	補助費等	54 億 3,388 万円 (9.0%)
	繰出金ほか	77 億 9,628 万円 (12.8%)

市民1人当たりの市税負担

135,234 円

(対前年度 646 円減)

※市税とは、市民税、固定資産税、軽自動車税など

市民1人当たりに使われる額

573,033 円

(対前年度 7,301 円増)

※人口は、令和6年4月1日現在 105,753 人

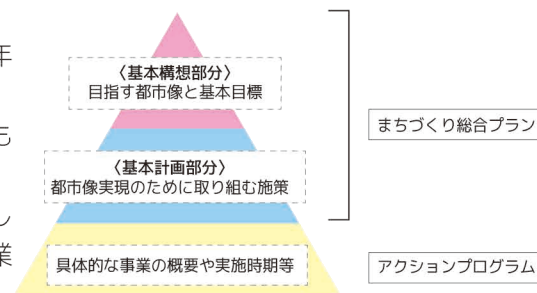
- 【歳入】
- ▼自主財源：市が自主的に収入できる財源で、市税や使用料・手数料など
 - ▼依存財源：国や県などから配分される財源で、地方交付税や国庫支出金、市債（長期借入金）など
 - ▼地方交付税：市町村が一定の行政サービスを保てるよう、国が配分するお金のこと
 - ▼市債：施設の整備等のために市が借り入れる資金のことで、将来返済する必要があるお金のこと
- 【歳出】
- ▼民生費：児童福祉や高齢者福祉などの社会福祉経費
 - ▼衛生費：し尿・ごみ処理や健康保持など環境・保健・衛生に係る経費
 - ▼義務的経費：扶助費、人件費、公債費などの支出が義務付けられている経費
 - ▼投資的経費：道路や学校などの建設や改修等に要する経費
 - ▼扶助費：生活保護にかかる経費、児童手当や障害者・子どもの医療費助成などの経費
 - ▼人件費：職員給与や議員報酬等に要する経費
 - ▼公債費：市債（長期借入金）の返済のための経費
 - ▼物件費：委託料や旅費、役務費などの経費
 - ▼繰出金：一般会計から国民健康保険特別会計等へ支出される経費
- 【歳出】
- その経費が持つ経済的な性質で分類するもの。義務的経費、投資的経費、その他の経費に区別できる。

第7次総合計画ができました

本市では、社会情勢の変化や本市を取り巻く課題への対応を踏まえながら、令和6年度から15年度までの10年間の計画期間とする第7次総合計画を新たに策定しました。

総合計画とは、本市の目指す将来の都市像を掲げた「まちづくりの指針」となるものです。

第7次総合計画では、目指す都市像実現のための施策の基本的な方向と体系を示したまちづくり総合プランと、そのプランに掲げる施策を実現するために実施する事業を示したアクションプログラムで構成しています。



目指す都市像 元気あふれる 安心快適な未来価値創造都市 おおむた ～有明海沿岸地域のリーディングシティ～

目指す都市像は、「人づくり」をまちづくりの基本としながら、明るく未来志向の市民の力と思いを、このまちの将来に向けた飛躍の力（バネ）とし、本市の暮らしやすさと災害対応力の向上とともに、これまで培ってきた基盤や経験を生かし、時代の潮流に合わせ、新たなまちの魅力や付加価値をまち全体として生み出していくことにより、持続的に発展していくまちの姿を表現しています。あわせて、九州佐賀国際空港や有明海沿岸道路等による広域的な交通ネットワークが形成され、人流や物流の更なる活発化が期待される、有明海沿岸地域全体の発展を先導する都市を目指すこととしています。

令和6年度の主な事業を紹介します

まちなか再生による活性化

● 官民連携によるまちなか再生・活性化

官民連携により策定された未来ビジョンの実現に向けた取り組みや若者が主体的にまちづくりに取り組む仕組みづくりを進めます。あわせて、にぎわい創出に向けたイベントや若者が集まる場づくり等に取り組むことで、まちなかの再生・活性化を図ります。



大牟田駅西口
でのイベント

（官民連携まちなか再生推進事業	850万円
中心市街地活性化事業	451万円
新栄町駅前地区市街地再開発促進事業	760万円）

災害につよいまちづくり

● 排水対策基本計画に基づく浸水対策の展開

排水対策基本計画に基づき、ハード・ソフトの両面から効果的・効率的な浸水対策を実施し、浸水被害の軽減に取り組みます。主な取り組みとして、三川新ポンプ場の建設や三田堤の改良工事、手鎌野間川の河川改良等を実施します。また、新たに白川ポンプ場のポンプ増設や歴木地区の樋門増設、船津新川堤防高上げ工事等に取り組みます。

（公共下水道雨水対策事業	21億1,372万円
雨水調整施設整備事業	1 億円
手鎌野間川河川改良事業	1 億980 万円
都市下水路改良事業	5 億7,500万円 他）

若者が夢を持って働くまちづくり

● 企業誘致の推進

新大牟田駅産業団地や民間所有の工場適地などへの企業の誘致を進め、新たな雇用の創出や市内企業との取引拡大などによる地域経済の活性化を図ります。あわせて、産業団地整備可能性調査を踏まえ、企業誘致の受け皿となる新たな産業団地整備に向けた取り組みを推進します。（企業誘致事業 4,013万円）

● イノベーション創出の促進

イノベーション創出拠点「アウレア」を中心に、IT関連企業の誘致や人・企業の活発な交流等を促進します。あわせて、DX推進セミナーやeスポーツ等のデジタル技術を活用したまちづくりに係る取り組みを行い、新たな連携やチャレンジによる更なるイノベーションの創出を促します。（イノベーション創出推進事業 1,786万円）



アウレアでは各種イベ
ントやセミナーも開催

● 地域企業の支援

「アウレア」内に、経営の効率化や技術開発、販路開拓、DX対応など、中小企業が抱えるさまざまな課題に対して、相談・支援を行うワンストップ産業支援窓口（大牟田市ビジネスサポートセンター）を新たに設置し、支援の充実に取り組みます。（地域企業支援事業 3,350万円）

子育て世代に魅力的なまちづくり

● 子ども医療の支援

0歳から中学3年生までの子どもを対象とした通院および入院医療費の自己負担分の一部を助成します。小学校就学前の子どもの医療費を無償とするとともに、小中学生の通院における自己負担額をワンコイン（500円）とする支援の拡充を行います（令和7年1月より実施）。（子ども医療費助成事業 3億1,683万円）

● 出産・入学おめでとうセットの提供

子どもの出生をお祝いする記念品を贈呈するとともに、保護者の家計負担軽減のため、入学時に必要な学用品等の一部を贈呈します。

（出産祝品贈呈事業 310万円
新入学祝品贈呈事業 1,022万円）

● 給食費の保護者負担の軽減

小・中・特別支援学校において、保護者負担軽減のため、物価高騰による給食費の材料費高騰分および給食費の一部について支援を行います。

（学校給食費支援事業 1億4,225万円）



● 誰一人取り残さない学びの保障

不登校児童生徒の多様な学びの場を確保するため、校内教育支援センター「ハートフルルーム」を設置するとともに、スクールソーシャルワーカーおよびスクールカウンセラーの充実や学習指導員の配置などに取り組みます。加えて、4月に開校した夜間中学「ほしぞら分校」において、学び直しを支援するとともに、不登校生徒の受入れを行います。

（ハートフルスクールプロジェクト推進事業 2,228万円
スクールソーシャルワーカー活用事業 3,834万円 他）

● 子ども・子育て応援条例の普及啓発

安心して子どもを産み育てることができ、子どもが誰一人取り残されることなく健やかに成長できるまちの実現に向け、本市独自の子ども・子育て応援条例の普及啓発を行います。

（子ども子育て応援条例推進事業）



大牟田市子ども・子育て応援条例ロゴマーク

誰もが安心して元気に暮らせるまちづくり

● 誰もが安心して移動できる公共交通

誰もが安心して移動できる持続可能な公共交通サービス体系の構築に向け、地域のニーズに応じた生活交通を確保するとともに、市内外との広域移動の利便性向上を図る取り組みを行います。

（生活交通支援事業 169万円
地域交通利便性向上事業 350万円
生活交通対策事業 207万円）



地域循環バス

● 合理的配慮の提供に対する支援

障害のある人もない人もともに安心して暮らせる共生のまちづくりを推進するために、事業者が合理的配慮の提供を行う際の費用を助成します。

（合理的配慮提供支援事業 200万円）

※合理的配慮とは、障害のある人とそうでない人の機会や待遇を平等に確保し、支障となっている事情を取り除くために必要かつ合理的な配慮を講ずること。

● ゼロカーボン都市に向けて

EV車の普及のため、充電設備の設置促進に向けた検討や、環境家計簿アプリの活用など市民のエコ行動の実践につながる取り組みを進めます。また、危険な暑さが見込まれるときに開設するクーリングシェルターの指定・周知啓発を図ります。

（ゼロカーボン推進事業 100万円）

市の財政に関する情報は、市ホームページでも随時公表しています。

■問合せ 財政課
（☎41-2507
FAX41-2552）



市の方針についてはこちら
↓



令和5年度 大牟田市の財政状況

■問合せ 財政課

☎41-2507

FAX41-2552

6年3月末日現在の予算の執行状況、財産、市債および一時借入金残高を公表します。

※5年度の収入済額および支出済額は5月までの出納整理期間を経て確定するため、今回の数値は、決算額とは異なります。確定した決算の内容は『広報おおむた』12月1日号で公表する予定です。

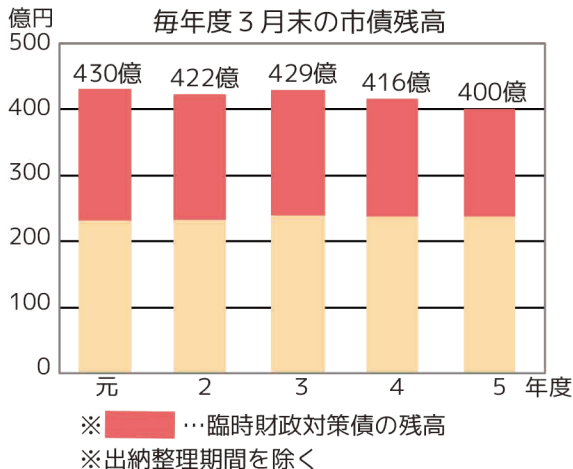
●令和5年度予算の執行状況（会計別）

会 計 名		予算現在額	令和5年4月から令和6年3月まで		うち令和5年10月から令和6年3月まで	
			収入済額	支出済額	収入済額	支出済額
一 般 会 計		699億6,035万円	80.9% 566億2,368万円	76.0% 531億5,434万円	42.3% 295億9,325万円	41.5% 290億5,639万円
	うち市税	145億3,705万円	99.3% 144億3,444万円	—	57.0% 61億4,703万円	—
特 別 会 計	国民健康保険	148億1,068万円	93.4% 138億2,752万円	88.4% 130億8,978万円	53.2% 78億8,305万円	52.0% 76億9,779万円
	介護保険	137億1,141万円	83.7% 114億8,049万円	87.4% 119億8,687万円	40.0% 54億8,065万円	48.5% 66億4,433万円
	後期高齢者医療	22億1,116万円	89.5% 19億7,956万円	91.9% 20億3,118万円	60.8% 13億4,500万円	65.1% 14億3,948万円
	病院事業債管理	11億6,622万円	73.9% 8億6,222万円	100.0% 11億6,622万円	37.0% 4億3,111万円	63.0% 7億3,511万円

市債 残高	399億9,385万円 (令和6年3月末現在)	一時借入金 残高	0円 (令和6年3月末現在)
----------	----------------------------	-------------	-------------------

市民一人当たり (令和5年4月から令和6年3月)	市民一人当たり (令和5年10月から令和6年3月)
使った費用 …502,627円	使った費用 …274,757円
負担した市税…136,492円	負担した市税… 58,126円
市債残高 …378,182円	市債残高 …378,182円

市債残高は、過疎対策事業債の残高が増加している一方で、全体として新規借入の抑制を行っているため、減少傾向にあります。



●市有財産の状況

(令和6年3月末現在 m²は平方メートル、m³は立方メートル)

土地	3,820,197.35m ²	職員退職手当 積立基金	4億 312万円	動物園ゆめ基金	4,061万円
建物	495,328.60m ²	国民健康保険高額 療養資金貸付基金	200万円	青少年健全育成基金	701万円
立木	3,395.30m ³	わくわくシティ基金	1億2,007万円	九州新幹線漏水対策 施設維持管理基金	12億2,198万円
地上権及び地役権	3,797.79m ²	減債基金	4億4,436万円	財政調整基金	26億7,716万円
著作権	3件	福祉振興基金	2億6,192万円	安心安全まちづくり 基金	854万円
商標権	1件	人生トリアスロン 金メダル基金	533万円	市立学校施設整備 基金	4,686万円
有価証券	1,000万円	庁舎等建設積立基金	28億9,480万円	おおむた100 若者未来応援基金	8,146万円
出資財産	13万円	ふるさと・水と土 保全基金	1,146万円	森林環境譲与税基金	1,358万円
出資金及び出捐金	25億7,375万円	介護給付費準備基金	15億 824万円	消防応援基金	2,410万円
土地開発基金	3億3,466万円	近代化遺産保存活用 基金	3,515万円	ふるさと応援基金	4億9,149万円
廃棄物の埋立地取得及び 処理工場建設積立基金	10億 44万円	まちづくり基金	5,881万円		